

はん らん 川の氾濫



水の災害で怖いのは、川の氾濫、洪水だべえ。大磯で怖い川は花水川(金目川)だべえ。

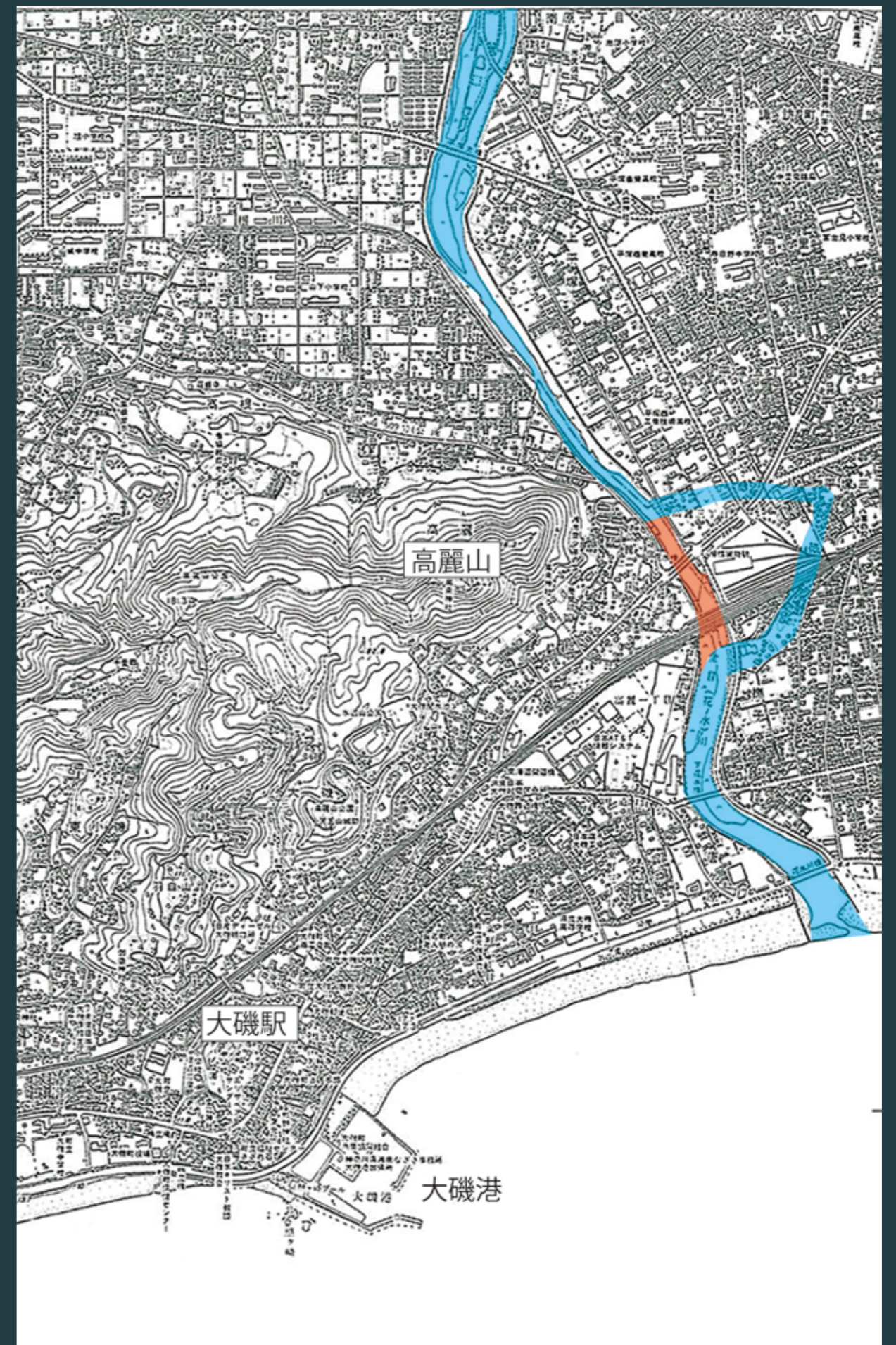


花水川は、昔から洪水を起こしてきたわ。江戸時代にも度々洪水を起こしたから、何度か川の流れを変える工事をしているの。中でも大磯に影響があったのは、高麗の方で蛇行していた川筋を直線にした工事なのよ。



この工事は、1707年(宝永4)に富士山が噴火したことと関係があるんだべえ。富士山が噴火して、火山灰が降り積もったことによって川底が上がって、洪水が起きやすくなったんだべえ。だから、川の流れを変えることになったんだべえ。

1709年(宝永6)の工事による花水川の河道の変化



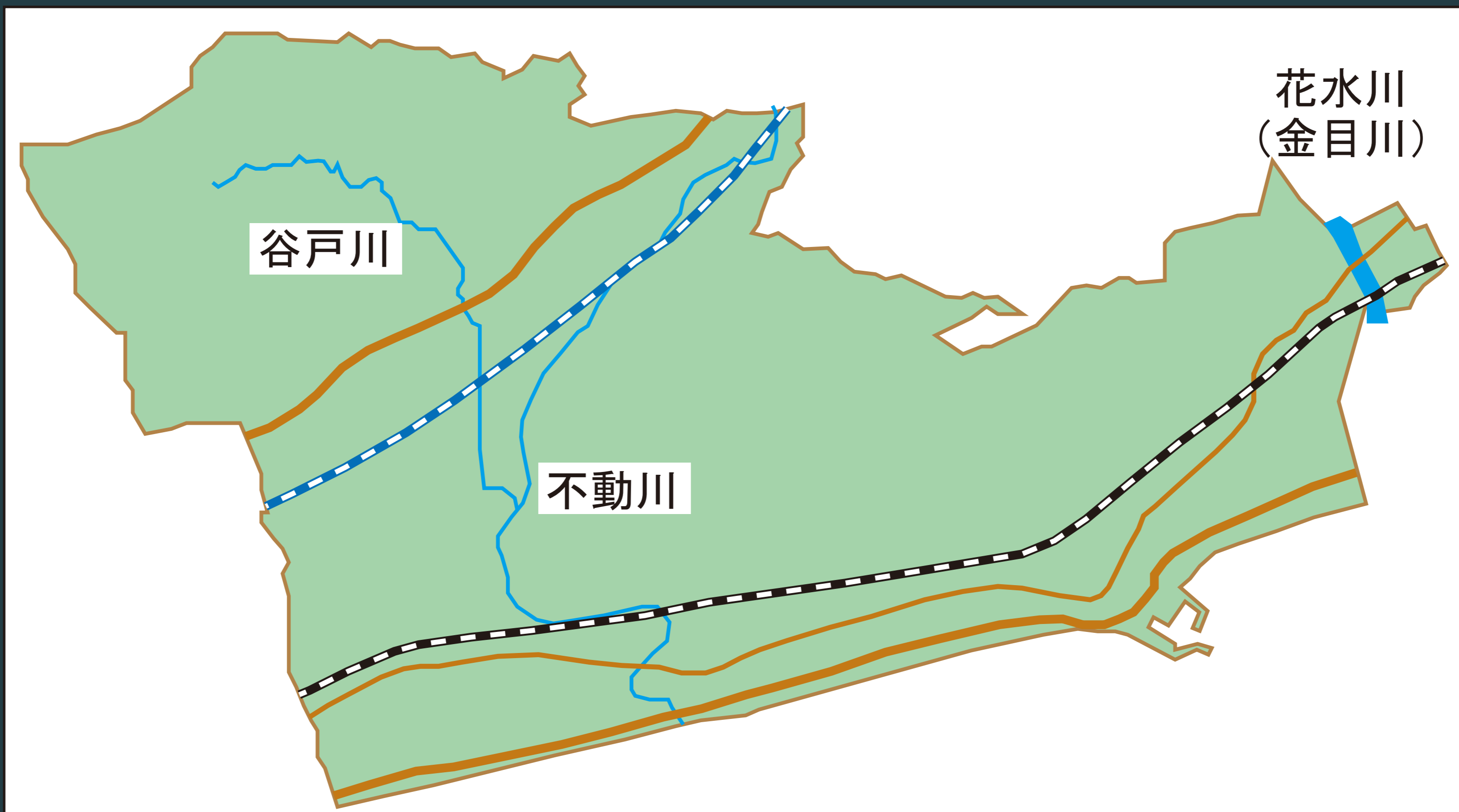
青い部分が工事前の河道で、赤い部分が工事後の河道。

※大磯町全図 1:10,000(大磯町 1995年発行)を使用

大磯町と平塚市の境が、今の花水川を越えて少し膨らんでいるのは、この名残りなのね。



大磯町内で洪水を起こしたことがある川



川の流れを変える工事を行ったけど、結局花水川は昭和の初め頃まで、何度も氾濫したわ。



他にも、町内では不動川などの生沢や黒岩を流れる川も、江戸時代の頃から何度か洪水を起こしているみたいだべえ。

主な参考文献

大磯町郷土資料館編『大磯の災害』2013
大磯町編『大磯町史』1996～2008
大磯町郷土資料館編『むかしがたり』1993
鈴木昇『大磯の今昔』(八) 1998

制作

大磯町郷土資料館

2015年(平成27)3月
〒255-0005 神奈川県中郡大磯町西小磯 446-1
電話: 0463-61-4700 FAX: 0463-61-4660